

|       |                             |      |                                   |                 |                      |
|-------|-----------------------------|------|-----------------------------------|-----------------|----------------------|
| 事務事業名 | 農地・水保全管理支払交付金事業             | 所属部  | 産業振興部                             | 所属課             | 農林土木課                |
| 政策名   | 総合計画体系 (V)賑わいあふれる雲南市《産業・雇用》 | 所属G  | 農林道G                              | 課長名             | 石飛幸治                 |
| 施策名   | (33)農業の振興                   | 担当者名 | 伊藤大輔                              | 電話番号<br>(内線)    | 0854-40-1053<br>3710 |
| 基本事業名 | (096)生産基盤の整備・保全             | 予算科目 | 会計 款 項 目 中事業<br>01 310 015 415 01 | 農地・水保全管理支払交付金事業 |                      |

1 現状把握の部

(1)事業概要

|  |  |   |
|--|--|---|
| ①事業期間  | ②事業の内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)  | ③開始したきっかけ<br>(いつ頃どんな経緯で開始されたのか?)  |
| <input type="checkbox"/> 単年度のみ<br><input type="checkbox"/> 単年度繰返(年度~)<br><input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度(19年度~28年度) | 農地・農道・水路・ため池といった農業資源を保全するため、地域ぐるみでの効果の高い共同活動交付金及び農業用排水路等の施設の長寿命化のための向上活動交付金に取組む。また、円滑な活動実施に向けた取組みを推進し、実施後その実施状況の確認等を行う。(県協議会への事業費負担割合;国1/2、県・市1/4) | 国が平成19年度より共同活動交付金事業(1期5ヵ年)、平成23年度より向上活動交付金事業(1期6ヵ年)を開始。農業及び農村の基盤となる農地・水・環境の保全と質的向上(長寿命化)を図るとともに、農業が本来有する自然循環機能を維持・増進することを目的に新たな支援策を実施したことにより取り組みはじめた。 |

(2)トータルコスト

| ①事業費の内訳(概要)  |                | 単位     | 21年度(決算) | 22年度(決算) | 23年度(決算) | 24年度(計画) | 25年度(計画) | 全体計画  |
|--|----------------|--------|----------|----------|----------|----------|----------|-------|
| ①協議会へ負担金支出(田4,400円/10a、畑2,800円/10a)<br>・負担金 32,095千円(共同22,574千円、向上7,844千円、事務1,464千円、先進213千円)<br>・対象面積は、田1,991ha 畑182ha 合計2,173ha<br>②協定締結、実施状況等確認、申請手続等推進事務費<br>・需用費 922千円 | 財源内訳           | 千円     | 978      | 832      | 914      | 914      | 914      | 9,174 |
|  | 国庫支出金          | 千円     |          |          |          |          |          |       |
|  | 県支出金           | 千円     |          |          |          |          |          |       |
|  | 地方債            | 千円     |          |          |          |          |          |       |
|  | その他            | 千円     |          |          |          |          |          |       |
| 事業費計(A)  | 千円             | 23,852 | 24,350   | 32,103   | 35,878   | 36,000   | 308,014  |       |
| ②延べ業務時間の内訳(業務の流れ等)<br>活動実施状況の確認、支援業務等<br>・会議・研修 7人×5回×2時間=70時間<br>・指導・事業確認 7人×7時間×60日=2,940時間  | 正規職員従事人数       | 人      | 7        | 7        | 7        |          |          |       |
|  | 延べ業務時間         | 時間     | 2,520    | 2,520    | 3,010    |          |          |       |
|  | 人件費計(B)        | 千円     | 9,611    | 9,798    | 11,865   | 0        | 0        |       |
|  | トータルコスト(A)+(B) | 千円     | 34,441   | 34,980   | 44,882   | 36,792   | 36,914   |       |

(3)事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

|    |   |     |        |          |          |          |          |          |        |
|----|---|-----|--------|----------|----------|----------|----------|----------|--------|
| 手段 | ①主な活動<br>23年度実績(23年度に行った主な活動)<br>県協議会へ負担金の支払、新規・変更協定の締結、実施状況の確認、申請手続き等、組織が抱える問題・課題に対する助言、支援業務<br>24年度計画(24年度に計画している主な活動)<br>前年度と同じ。 | 指標名 | 単位     | 21年度(実績) | 22年度(実績) | 23年度(実績) | 24年度(目標) | 25年度(目標) | 最終(目標) |
|    | ⑤活動指標   | 組織  | 78     | 78       | 110      | 151      | 155      | 155      |        |
|    |   | 回   | 156    | 156      | 220      | 302      | 310      | 310      |        |
|    |   | 組織  | 13     | 18       | 21       | 10       | 10       | 10       |        |
|    |   | 千円  | 23,416 | 24,284   | 32,096   | 35,870   | 35,992   | 35,992   |        |
|    |   | 千円  | 1,414  | 898      | 922      | 922      | 922      | 922      |        |

|      |  |         |     |          |          |          |          |          |        |
|------|--|---------|-----|----------|----------|----------|----------|----------|--------|
| 目的   | ②対象(誰、何を対象にしているのか)<br>①協定を締結した活動組織(農業者、自治会、老人会、子供会、婦人会等)<br>②農業振興地域の農用地(田・畑)及び農業用施設<br>③意図(対象がどのような状態になるのか)<br>①主体的に保全活動等に取り組む。<br>②将来にわたって保全等が行われる。 | 指標名     | 単位  | 21年度(実績) | 22年度(実績) | 23年度(実績) | 24年度(目標) | 25年度(目標) | 最終(目標) |
|      | ⑥対象指標  | 組織      | 78  | 78       | 78       | 85       | 85       | 85       |        |
|      |  | 組織      |     |          | 32       | 66       | 70       | 70       |        |
|      |  | ha      |     |          |          |          |          |          |        |
| 上位目的 | ④結果(どんな上位目的に結び付けるのか)<br>・農業所得の向上   | ⑦成果指標   | ha  | 2,125    | 2,124    | 2,173    | 2,000    | 2,000    | 2,000  |
|      |  | 集落      | 267 | 267      | 272      | 250      | 250      | 250      |        |
|      |  |         |     |          |          |          |          |          |        |
|      |  | ⑧上位成果指標 | 億円  | ▲ 3.2    | ▲ 3.4    | ▲ 2.3    | ▲ 2.6    | ▲ 2.6    | ▲ 2.6  |
|      |  |         |     |          |          |          |          |          |        |

(4)事務事業の環境変化、住民意見等

|   |  |   |
|---|--|---|
| ①事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?<br>地域住民(共同活動交付金78組織・向上活動交付金32組織)が主体的に取り組んでおり、これにより農地等の保全管理や老朽化施設等の補修・更新が図られ、また、農村環境を守る活動に農家だけでなく非農家が直接参加する枠組みが構築された。また、事業の趣旨も構成員に理解され、さらに充実した活動計画の作成・実施等が望まれる。 | ②この事務事業に関するこれまでの改革改善の取り組み経緯<br>平成23年度より、農業用施設等の長寿命化(補修・更新)の活動に特化した向上活動交付金が創設された。また、平成24年度より2期の共同活動交付金事業(24~28年度)が引き続き5年間継続される。 | ③この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?<br>事業対象者から、農業者以外の者も構成員として活動に参加する必要がある、さらなる地域ぐるみでの活動を充実させることが求められている。<br>また、申請・報告等の事務処理が煩雑であるため、事務の簡素化が求められる他、老朽化した施設等の補修・更新が増大する中で、適切・公平な予算措置が求められている。 |
|---|--|---|

|       |                 |     |       |     |       |
|-------|-----------------|-----|-------|-----|-------|
| 事務事業名 | 農地・水保全管理支払交付金事業 | 所属部 | 産業振興部 | 所属課 | 農林土木課 |
|-------|-----------------|-----|-------|-----|-------|

2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

|                 |  |   |
|-----------------|--|---|
| 目的<br>妥当性<br>評価 | ① 政策体系との整合性<br>この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?                                    | <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映<br><input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒<br>地域住民による農地・農業用水等の資源や農村環境の保全と質的向上を図るための共同活動を支援することにより、農業生産基盤を維持し食料の安定供給や多面的機能の発揮に繋がる。   |
|                 | ② 公共関与の妥当性<br>なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?   | <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映<br><input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒<br>農用地等は社会共通の財産であるため、環境保全をしていくことは重要である。また、共同活動を実施することにより個々の意識を高めるられるため、農業経営の安定だけでなく防災面、環境面等の多面的機能の発揮を通じ、農業者、地域住民の利益につながる取組であるため。               |
|                 | ③ 対象・意図の妥当性<br>対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?   | <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映<br><input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒<br>雲南市の農振農用地の全域を対象としているため。   |
| 有効性<br>評価       | ④ 成果の向上余地<br>成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?                         | <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映<br><input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒<br>雲南市の農振農用地を対象としているため向上の余地はないが、活動回数及び共同活動の参加者数が増えることにより更なる環境保全の成果は十分に期待できる。事業採択の要望があれば積極的に協力する。  |
|                 | ⑤ 廃止・休止の成果への影響<br>事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?  | <input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映<br><input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒<br>廃止した場合、地域住民による農地・農業用水等の適切な保全・管理がますます困難となっていくため、農用地等の環境が保全されなくなってしまう。   |
| 効率性<br>評価       | ⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性<br>目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか? | <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒【理由】⇒ (具体的な手段, 事務事業)<br>中山間等直接支払制度<br><input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映<br><input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒<br>事業対象者は、各制度の要件に応じて使い分けている。(連携)                    |
|                 | ⑦ 事業費の削減余地<br>成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)  | <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】⇒<br><input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映<br><input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒<br>事業費を削減することは、協定の締結数の減少につながり、成果を下げってしまう。  |
| 公平性<br>評価       | ⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地<br>やり方の工夫で延べ業務時間を削減可能か? 成果を下げずに正職員以外や委託でできないか?                                | <input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映<br><input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒<br>国の農業政策で開始された事業で計画に基づいたものであり、必要最低限の人件費である。また、成果を向上させるためには、積極的な取組が必要であり、そのためには業務時間の増加が避けられないと思われる。   |
|                 | ⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地<br>事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正か?                                    | <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映<br><input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒<br>対象地域には、事業説明を行い、理解を得ているため公平の扱いになっている。費用負担については、国負担50%、県負担25%、市負担25%の交付金となっているため、受益者の負担はない。また、未実施地域と不公平にならないよう、他地域から事業採択の要望があれば積極的に協力している。 |

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

|  |  |
|--|--|
| (1) 1次評価者としての評価結果  | (2) 全体総括(振り返り、反省点)   |
| ① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり<br>② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり<br>③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり<br>④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり | 中山間地域等の農業・農村には多様な課題等があり、本事業のみで対応することは困難であるが、本事業の趣旨である農業者以外の者も構成員として活動に参加する必要があることを有効に活用することで、地域ぐるみでの効果の高い保全管理等の共同活動が実施され、さらに農業用施設等の補修・更新を集落で実施していくためにも、本事業は今後も継続していく必要がある。 |

|   |   |    |    |     |  |  |    |    |    |    |    |  |   |  |    |  |  |   |  |    |  |   |   |
|---|---|----|----|-----|--|--|----|----|----|----|----|--|---|--|----|--|--|---|--|----|--|---|---|
| (3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可  | (4) 改革・改善による期待成果  |    |    |     |  |  |    |    |    |    |    |  |   |  |    |  |  |   |  |    |  |   |   |
| <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携<br><input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善)<br><input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) | <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> (廃止・休止の場合は記入不要) |    |    | コスト |  |  | 削減 | 維持 | 増加 | 成果 | 向上 |  | ● |  | 維持 |  |  | × |  | 低下 |  | × | × |
|   |   |    |    | コスト |  |  |    |    |    |    |    |  |   |  |    |  |  |   |  |    |  |   |   |
|   |   | 削減 | 維持 | 増加  |  |  |    |    |    |    |    |  |   |  |    |  |  |   |  |    |  |   |   |
| 成果  | 向上  |    | ●  |     |  |  |    |    |    |    |    |  |   |  |    |  |  |   |  |    |  |   |   |
|   | 維持  |    |    | ×   |  |  |    |    |    |    |    |  |   |  |    |  |  |   |  |    |  |   |   |
|   | 低下  |    | ×  | ×   |  |  |    |    |    |    |    |  |   |  |    |  |  |   |  |    |  |   |   |
| 本事業の対象農用地を拡大することで、適正管理農用地等は確実に増加し、成果は向上すると考えられる。しかし、組織へ事業趣旨・内容等を説明し、理解・同意等を得る必要があること、また、高齢化・後継者不足により、事務・活動等取り組みが困難な地区もあるため、人的配置、活動計画等に対し行政からの支援が必要である。  |   |    |    |     |  |  |    |    |    |    |    |  |   |  |    |  |  |   |  |    |  |   |   |

|  |
|--|
| (5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策  |
| 本事業の実施により、耕作放棄地等の発生防止に効果があると考える。今後は雲南地域で農業後継者不足の課題等にも取り組める環境整備を推進するなど、活動計画の充実が図れるようサポートしていく。 |